

景況実感調査(8月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 在庫数量が多く荷動きも活発でない。市中価格は下げ止まったまま。メーカーの動きを注視。
- ② 盆休みの影響で前月に比べ売上、数量とも減少した。
- ③ 浦安地区薄板市況は下げ止まり感が強まり、盆明け後の動向で市況が上がるのを期待している。
- ④ 8月中旬から少しずつではあるが荷動きが改善してきている。昨年と同様にユーザーは忙しくなりつつあり、秋需が期待できる。価格は下げ止まり、コイルセンターレベルでは旧単価の在庫が無くなり、採算改善のためにも値戻しは必須である。
- ⑤ 夏休みもあり出荷数量、金額ともに低調。鉄鉱石、石炭、トヨタ紐付きともに値下がり続き、得意先(大口)からは早くも価格見直しの要請が入った。運賃や電力料金、人件費の値上がりは、あまりインパクトのあるエクスキューズとはならず、メーカーの売り姿勢とのギャップに流通は苦しい局面にある。7～8月の実需が弱かった分、9月以降も見通しが立てづらい。小口の短納期対応は、程々に入っているが、いかにもボリューム不足。新日鐵住金の名古屋工場も心配。

中板

- ① 在庫も適正化し、市況も底打ち感が出てきたが、相変わらず職人不足が深刻化しており、物件はあるが着工が進まない状況が続く。

厚板

- ① 8月は夏休みで稼働日が少ないため前月に比べ売上、数量とも減少した。
- ② 建産機メーカーの海外での加工生産により今後の受注動向が心配だ。

一般形鋼

- ① 営業日数が前月7月比▲15%なのに数量、売上高、収益状況はそれ以上の落ち込み率となってしまった。しかし、原因を検証すれば荷動きのトレンドは上昇過程にある。所謂秋需を取り零すことなく年を越したい。
- ② 大型の現場は出てきているが、人手不足で取りに行くのに非常に四苦八苦している。早くこの問題を解決しなと建物が建たなくなってしまう。

HI形鋼

- ① 前月は出荷量も回復していたが、今月は実稼働日数も少なく、落ち込んだ感じがあるが、メーカーの減産もあり、在庫は増えることなくきたので、需給バランスを考えての行動が必要なとき。繁忙期に入るまでの回復基調の維持に努める。
- ② 市況に大きな変化はなく、上昇の気配は感じられない。やはり市中に出回る需要の伸びが感じられないから強気になれない。

異形棒鋼

- ① 荷動きは低位安定。価格は横這い。9月からの動き待ち。
- ② 市況は下げ基調であるが、電力を中心に副資材等の高騰がコストアップの要因。為替の円安傾向もあり鉄筋丸棒メーカーの危機感は強まってきており、値戻しに取り組んでいく。目先、強含み。以降はメーカーの足並みが揃うことに期待したい。
- ③ 8月は夏季休業もあって不振。メーカーの販売姿勢が弱く、市況は弱含みでの推移となったが、スクラップ価格の上昇もあって底入れ気運となり、今後期待したい。

平鋼

- ① 8月の荷動きは大きな変化なく、横這い。建築物件の納期が遅れているのもあるが、昨年ほどの勢いは感じられない。土木関連も足元の動きは鈍く、荷動きは停滞気味。価格は、スクラップが反転しメーカーからも強気な発言が聞こえてくるが、市況は上がる気配どころか弱含みであり、価格を上げる力はない。現在は様子見。

鋼管

- ① 8月の荷動きは、稼働日数分減少で、日割りでは7月から横這い。分野により好不調がより鮮明になっている。

構造用鋼

- ① 下期の見通しは全く不明。
- ② 需要動向については、自動車関連部品はKD部品の輸出を中心に好調に推移している。建設機械関連は、大型機種以外の需要は比較的底堅い動きが続いている。また、工作機械関連も輸出を主体に増加傾向となっている。店売りの荷動きは、8月は稼働日数減の影響が多少あるものの大きな変化なく、横這いで推移している。市況については、メーカーの値上げに伴い、すでに値上げした材料の入荷が進んでおり、採算確保のために再販価格への転嫁を進めている。
- ③ 荷動きが良くない中で、引合いは出てきているが価格はかなり厳しい。トヨタの価格決定を受けて、建機、産機メーカーにどの程度影響が出るかが気になるところ。

その他

<曲げ加工>

- ① 8月に入り、前半は夏休み等によりやや出足が遅れ気味だったが、中盤より盛り返し前月よりやや上昇となった。業界等の噂では、9月頃から上向きに転じるという話だが、果たして現実は如何に。8月は当初予定していたより実績はやや上向き、見積り件数の今までより増えつつある。

<スクラップ>

- ① 8月も発生が相変わらず乏しかった。6月頃から回収は落ち込み続けている。
- ② 我々リサイクルの仕事は、海外に工場が移転しているので年々減少していて大変だ。国内は人口減少で将来ますます大変になるが、頑張る。

<金属表面処理加工>

- ① 8月は物件物、紐付きともに計画通りとなる。スポットは、引合い、成約とも活発で前月比10%増。先物件の見積り依頼も多く、9月以降も物件物が確定していることから安定操業で推移する予想。9月は高付加価値の加工が多く、平均単価も高い水準となりそうである。